※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術１」（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・平面（紙）上に、鉛筆、水彩絵の具、アクリルガッシュを用いて、対象物（モチーフ）を表現する力、イメージを表現・構成する力を養います。
・紙、粘土、針金などの素材を用いて、立体作品を造形する力を養います。
・美術作品の鑑賞を通して、作者の心情や意図と表現の工夫などのよさや美しさを感じ取り、美術作品のよさや美しさを創造的に味わいましょう。

2　学習の到達目標

・美術の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
・創造的な表現を工夫したり、美術のよさや美しさを味わったりすることができるようにする。
・生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期または後期（中間考査まで）	平面造形	平面作品 ・鉛筆 ・水彩絵の具 ・アクリルガッシュ	a:色彩、用具などの性質や、それらが人の感情にもたらす様々な効果について理解するとともに、全体のイメージで捉えることを理解している。（知識） 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表している。（技能）。 b:創造的に発想し、構想を練っている。（発想や構想） 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。(鑑賞) c:主体的に学習に取り組んでいる。	ワークシート	作品 ワークシート	制作の様子
前期または後期（期末考査まで）	表現開拓	立体作品 ・紙、粘土、針金などの素材を用いた立体作品	a:形、材料などの性質や、それらが人の感情にもたらす様々な効果について理解するとともに、全体のイメージで捉えることを理解している。（知識） 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表している。（技能）。 b:創造的に発想し、構想を練っている。（発想や構想） 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。(鑑賞) c:主体的に学習に取り組んでいる。	ワークシート	作品 ワークシート	制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度